

# 市長から市民のみなさんへ

68

山陽小野田市長 白井 博文

## まちづくり市民会議

### 「バイオマス推進」部会の委員を公募します

4ページにありますように、約1年半ぶりの「まちづくり市民会議」を「バイオマス推進」という議題で開催します。「バイオマス」という言葉に聞きなれない響きを感じる方も多くいらっしゃると思いますが、地球温暖化による環境破壊が問題となり、社会のありようから変えていかなければという危機感が全世界で共有されはじめた昨今、「バイオマス」構想は各方面から注目が集まっている旬な話題でもあるのです。

「生物」を意味する「バイオ」と「量」を表す「マス」が合わさった「バイオマス」。生ゴミ、てんぷら油、下水、し尿汚泥などの身の回りにある廃棄物から、菜の花、竹、稲わら、もみ殻、そして本市で言えばナルトビエイなど未利用の農水産物まで幅広い資源を有効活用できないかという取組みが、すでに全国各地ですんでいるところですが、本市においては企業や専門家で構成された「バイオマスタウン研究会」から、市をあげて積極的に取り組むように提言書が提出されたばかりです。それを受けて開催される今回のまちづくり市民会議が市民のみなさんと環境問題について一層の議論を深める機会になることを期待しています。

3月15日に開催の「市民環境フォーラム」（文化会館）で講演されるバイオマスの第一人者といわれる京都工芸繊維大学の奥名誉教授は、現代に生きる我々の生活様式を、①資源消費の総量に枠組みがない、②製品の最初にだけ価値を与え使用後に産まれる物質に価値を与え

## 対話の日

【いずれの会場も19:00から】



3月27日(木) 自由ヶ丘自治会館

4月10日(木) 古開作自治会館

4月24日(木) 南若山自治会館

※4月10日は山陽地区の開催です。

ない、③ものを大切に作る知性とところを軽視する、と評しています。バイオマスの推進と並行して、消費社会に慣れ切った私たちの生き方、考え方を見直すことも急務の課題のようです。数十年先のわがふるさとに暮らす未来の子どもたちに、今の環境を引き継いでいくためにも、今こそ「何か」行動をはじめなければいけないことは確かです。まずは市民会議に参加されて、環境問題について考えを深めることから始めてみませんか。お気軽にご応募ください。

さて、来る3月20日(祝)には合併3周年記念「市民ふれあいの集い」を開催します。1,2と来て、次は5の年かなという考えもありましたが、市の設計図ともいえる総合計画が完成した節目の年にぜひとも開催したいという思いから、実現の運びとなりました。当日は子どもたちの、歌あり踊りありの元気いっぱいステージが繰り広げられます。明日を担う子どもたちとともに未来に向けて、まさに「活力ある住みよさ創造都市」のスタートにふさわしいイベントとなることでしょう。また、会場周辺では、市内の特産品の販売等も予定されています。たくさんの方々のご来場をお待ちしています。

## 山陽太平洋ライム株式会社が新工場建設

2月25日、山陽太平洋ライム株式会社の工場建設計画が決定し、市役所で進出協定調印式が行われました。

太平洋セメント株式会社と同社系列の奥多摩工業株式会社の共同出資で設立された同社は、太平洋セメントの社有地で製紙用の工業用石灰の製造を行う予定です。今年12月の操業開始を目指します。

市では、今後も地域経済の活性化のため、積極的に企業誘致活動に取り組んでいきます。

■問い合わせ先 商工労働課 (☎ 82-1156)

▼調印後握手を交わす石井恒二社長(右)、森敏明  
県商工労働部審議監(中央)、白井市長(左)



山陽太平洋ライム株式会社

(本社) 市内大字小野田6276番地(資本金)9千万円